

# 教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)  
 予約購読料 1年分 5,000円  
 紙代のみ 3,500円  
 振替 00140 9 145275  
 本紙を購読ご希望の方は、前金を  
 そえて、お近くのキリスト教書店  
 へお申し込み下さい。  
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546  
 FAX 03(3207)3918  
 発行人 内藤 留 幸  
 編集主筆 竹 澤 知 代 志  
 印刷所 株式会社きかんし



正議員 503 名、出席 360 名、最大規模の教区総会

2010年5月25日(火)富士見町教会において、第69回東京教区定期総会が、議員503名中360名が出席する中、開催された。

今回の総会では、東京教区が昨年「教区が結論を出した三里塚教会問題を現在も尚、一部常議員や教区議長が糾弾していること」と、「阪神淡路大震災救済金等にかかる諸問題を当該教区が明らかにしないこと」、「教団との一定の距離を置く」とした教区が教区活動連帯金や教団一般会計の

当該教区宣教連帯金を受け取る等、などを理由に、これらの問題が解決するまで教区活動連帯金拠出を留保していることについて、多くの意見や疑問が寄せられた。特に北海、沖縄などが困難な状況に陥っていると主張がなされ、「兵糧攻めではないか」「北海ではこの留保による不足を、教区が補填してきたが、その原資も尽きる。お金を出さな」という方法がやめるべき」との意見が出された。これについては長崎哲夫議長から「教区ですべてに解決

している問題が様々な所で取り上げられ、批判されること、教団と距離を置くはずの教区が、教団からお金は受け取っていること、兵庫教区が震災後16年も経つのに、教団の資金の使途を明らかにしないことなど、本当の連帯を崩す、教団のあり方に対する留保である」と述べられた。また、留保に賛成する立場から、「未受洗者配餐をしている教会、教区にも出さないなど、規定を定めてほしい」との訴えがなされた。また常置委員会報告に対

しても多岐に亘った疑問がなされた。特に成増キリスト伝道所の被包括関係廃止の手続きに関して、教団の幹事任用に関する協議が開かれたことについて、意見や質問が寄せられた。

今総会には2010年度北支区総会から「支区活動を充実のために、支区交付金を教区経常会計総額の10%を目標に増額する件」が提出された。長崎議長から「この件は教区規則の変更に当たるので、現時点では議題としては成立しないが、そのことも踏まえて議場に諮

【教職】倉橋康夫(富士見町)、木下宣世(西千葉)、長山信夫(銀座)、渡邊義徳(17名)

【教職】望月賀志(眞志、金)

【教職】岸俊彦(経堂北)、長山信夫(銀座)、野村和正(長原)、菅原力(弓町本郷)、松下恭規(芝)

【信徒】棟居正樹(木坂)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、永井清陽(経堂北)、持田二郎(池袋西)

【信徒】鈴木優子(小松川)、川上郁夫(西新井)、鈴木功男(目白)、棟居正(柿野)、榎田利明(富士見町)、池田浩(豊南坂)、持田二郎(池袋西)、永井清陽(経堂北)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、吉池光(九段)、岩澤高(銀座)、澤田竹二郎(白)

【教職】望月賀志(眞志、金)

【教職】岸俊彦(経堂北)、長山信夫(銀座)、野村和正(長原)、菅原力(弓町本郷)、松下恭規(芝)

【信徒】棟居正樹(木坂)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、永井清陽(経堂北)、持田二郎(池袋西)

【信徒】鈴木優子(小松川)、川上郁夫(西新井)、鈴木功男(目白)、棟居正(柿野)、榎田利明(富士見町)、池田浩(豊南坂)、持田二郎(池袋西)、永井清陽(経堂北)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、吉池光(九段)、岩澤高(銀座)、澤田竹二郎(白)

【教職】望月賀志(眞志、金)

【教職】岸俊彦(経堂北)、長山信夫(銀座)、野村和正(長原)、菅原力(弓町本郷)、松下恭規(芝)

【信徒】棟居正樹(木坂)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、永井清陽(経堂北)、持田二郎(池袋西)

【信徒】鈴木優子(小松川)、川上郁夫(西新井)、鈴木功男(目白)、棟居正(柿野)、榎田利明(富士見町)、池田浩(豊南坂)、持田二郎(池袋西)、永井清陽(経堂北)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、吉池光(九段)、岩澤高(銀座)、澤田竹二郎(白)

## 2010年度 教区総会報告 3

第67回沖縄教区総会は、5月30日から2日間、沖縄キリスト教センターで正議員45人中、開会時41人が出席して開催された。

村椿議長は、議長報告で「教団との関係」について、「いつまで距離を置き続けるのか、決まった答えがある訳ではないが、双方が責任をもって対話を開始する努力をしなければならぬ。沖縄教区からも声を上げながら、相互批判的な関係を築くため、主体的に判断する必要がある」と報告した。

これに対し、「距離を置く」としながら、教団総会議員選挙案を提案している理由は何か。沖縄宣教連帯金が従来の120万円から10年度80万円に減額されたこととを何故議長報告に記述しないかとの質問が出たが、村椿議長は、「常置委員会、教団総会議員選挙を議場の判断に待つべき」として提案した。沖縄宣教連帯金

は、基本的には献金であり、献金者の意向もあること」と答えた。

2日目午後の教団総会議員選挙案審議では、教団と距離を置くため、議員を選出しない」との修正動議が出され、「対話は時期尚早」との意見が大勢を占め、採決の結果、挙手多数で可決され、沖縄教区は、34回以来4回連続で、教団総会

議員選出を行わなかった。教団問安使も03年以来、8年連続で拒否した。

1日目夕の議長選挙の冒頭、村椿議長は、「今年8月教会を辞任し、10月他教区に移る」とを表明し、投票に入った。投票総数41中24票を得て、竹花和成氏(首里)が当選。第1回投票であつたこと、議場からは小さななどよ

めきが起きた。

竹花和成議長は、「皆さんの協力と祈りなくして、責任は果たし得ない。支えがあつての職務と理解している。諸教会の祈りで支え合つて教区であつて欲しい」と所信を表明した。

副議長選挙は、第3回目の投票で、小倉隆一氏(平真)が再任され、書記は正副議長の推薦を議場が承認して、藤原仰氏(宜野湾)を再任した。常置委員選挙は、6人(うち1人常置委員推薦)中、再任は1人で大幅に入れ替わつた。

論議を呼んだのは、教区宣教基本方針改定のための特設委員会、設置議案だつた。08年の「将来教会の在

り方特設委」答申を受けたものだが、過去2年間の準備期間を外間永一作業委員会委員長は、沖縄には相反する二つの教会のイメージ、教理解が厳然としてあり、叩き台の文案をまとめるには至らなかつた」と報告した。

これを受けての議論も、「4年間審議した将来教会特設委の答申を尊重すべき。世界の教会のパラダイムが変わりつつあることを、日本だけが自覚していない。前の基本方針のところが悪く、課題があつたのか」と文章を出さずして、諸教会の信徒と対話して欲しい」となど全くかみ合わない。継続審議提案も出たが、挙手多数で特設委設置が決まつた。今後厳しい作業が続くことになる。

10年度予算の資金不足に備え前年同様、研修センター「なきじん」資金を取り崩す議案が可決承認された。

常置委員選挙結果

【教職】望月賀志(眞志、金)

【教職】岸俊彦(経堂北)、長山信夫(銀座)、野村和正(長原)、菅原力(弓町本郷)、松下恭規(芝)

【信徒】棟居正樹(木坂)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、永井清陽(経堂北)、持田二郎(池袋西)

【信徒】鈴木優子(小松川)、川上郁夫(西新井)、鈴木功男(目白)、棟居正(柿野)、榎田利明(富士見町)、池田浩(豊南坂)、持田二郎(池袋西)、永井清陽(経堂北)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、吉池光(九段)、岩澤高(銀座)、澤田竹二郎(白)

【教職】望月賀志(眞志、金)

【教職】岸俊彦(経堂北)、長山信夫(銀座)、野村和正(長原)、菅原力(弓町本郷)、松下恭規(芝)

【信徒】棟居正樹(木坂)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、永井清陽(経堂北)、持田二郎(池袋西)

【信徒】鈴木優子(小松川)、川上郁夫(西新井)、鈴木功男(目白)、棟居正(柿野)、榎田利明(富士見町)、池田浩(豊南坂)、持田二郎(池袋西)、永井清陽(経堂北)、岡田義信(田園調布)、朝岡瑞子(船橋)、吉池光(九段)、岩澤高(銀座)、澤田竹二郎(白)

- 沖縄
- 東京
- 関東
- 東中国
- 東海
- 奥羽

## 戒規、教区連帯金に議論集まる

神奈川を除き、各教区総会が終わつた。ほぼ全ての教区で、戒規及び聖餐式、教区連帯金に関心の中であり、また、教区・教会財政及び教勢がいよいよ深刻さをまじつたことがうかがわれる。教団総会議員も選出され、既に教団総会へ向けスタートが切られた。教団は何処へ向かうのか。

戒規、教区連帯金に議論集まる

戒規、教区連帯金に議論集まる

戒規、教区連帯金に議論集まる

戒規、教区連帯金に議論集まる

戒規、教区連帯金に議論集まる

戒規、教区連帯金に議論集まる

挙手多数で宣教方針改定特設委の設置が決まつた

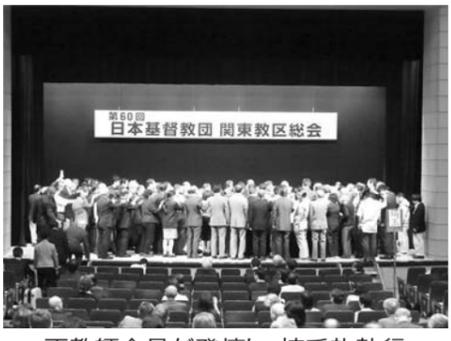
【信徒】高里鈴代(西原)、外間永二(平良川)、田実三男(高原)、大森節子(那覇中央・常置委推薦)

【信徒】高里鈴代(西原)、外間永二(平良川)、田実三男(高原)、大森節子(那覇中央・常置委推薦)

【信徒】高里鈴代(西原)、外間永二(平良川)、田実三男(高原)、大森節子(那覇中央・常置委推薦)

【信徒】高里鈴代(西原)、外間永二(平良川)、田実三男(高原)、大森節子(那覇中央・常置委推薦)

# 「聖餐式の正しい執行に関する件」議論白熱



正教師全員が登壇し、按手礼執行

第27号 聖餐式の正しい執行に関する件」の常置委員会議決に強く抗議し、同議決の撤回と聖餐に関する研究を求める件」が出された。当該議案は、議案整理委員会が一事不再議にあたる等の理由で議案とするのは不適切としたものの、動議によって第20号議案とされた。議長報告は、あくまで議長が報告していることに対する承認であることが確認された上で承認された。第20号議案については、議論途中で閉会時間になり、審議未了廃案となった。

第60回関東教区総会が、5月26、27日、大宮ソニックシティ小ホールにおいて、開会時、正議員263名中178名の出席で開催された。開会礼拝において、今総会で議案として出された、関東教区「日本基督教団罪告白文」(案)が告知された。

今総会において大きく取り扱われたことは、前総会において常置委員会付託とされた第27号議案「聖餐式の正しい執行に関する件」について、常置委員会で可決されたことを巡っての議論である。議長報告において、常置委員会が第27号議案を可決した上で、常置委員が教団のすべての教会に対し、教憲・教規に基づいた聖餐式の正しい秩序を守り、その徹底を図るよう申し入れることが報告された。これに対し、常置委員において十分に審議がなされていない等の理由から、「第59回教区総会議案

ことを前提に継続することとなった。議案第13号「教団年金に関する件」が可決された。教区一般会計より、年金局協力金として80万円を支出すること、謝恩日献金への取り組みを推進すること、経済的理由によって教団年金に加入できない教師に、教団年金掛け金の教師負担分を支援すること等を定めている。

教団問安使山北宣久議長の挨拶を巡り、150周年記念行事での教団の戦争責任の位置づけ、議長の沖縄教区との取り組み等について質疑応答がなされた。東谷誠部落解放センター長の挨拶があり、活動に積極的な教会と消極的な教会

第88回東海教区総会が5月25、26日、グランドホテル浜松を会場として開催された。出席正議員は202名中169名。第一読会では、小出望教区総会議長から議長報告において教区・教団の諸重要事項について語られた。教区内の自然災害について、昨夏の駿河湾沖地震で



活動献金」推進の件」並びに、キャラバンを受け入れることとする、「2011年度部活解放センターキャラバン」に関する件」が可決された。教団総会議員選挙結果【教職】正田國麿(大宮)、秋山徹上(尾合)、小池正造(東新湯)、石橋秀雄(越谷)、三浦修(埼玉)、田元原市(熊江)、新津(田中)、中村(安行)、山正道(四條町)、飯塚拓也(竜ヶ崎)、最上光宏(所沢)、武人(鴻巣)、佐久間文雄(志木)、伴朋子(前橋)、福本正美(西那須野)、三井田忠昭(岩槻) (嶋田恵信報)

## 信濃村教会設立を可決



建物に被害を受けた3教会(静岡一番町教会、静岡草深教会、静岡教会)の問安被害状況調査を行い、各教会の牧師から経過状況及び感謝報告がなされた。未受洗者陪餐に関する戒規執行をめぐる話し合いを徹底的にすすべてはどうか、多数決では教団を二分してしまつ、等の質疑があり、小

出議長は「戒規とは処罰ではなく、悔い改めを求めるものである。教団信仰告白と教憲教規の中でどのような聖餐が扱われているか、そこに立つことが目的であつて多数決で決まる事柄ではない。教団の現状において、教憲教規を遵守する教会が痛みを受けている」と答え、また「話し合

## 戒規、聖餐式の有り様でも議論



が行われ、新たに小松茂夫教師(鴨方)が選任された。最も関心を集めたのは、議論されたのは議案第11号「北村慈郎教師に対する教師委員会の免職処分への抗議と免職撤回を要請する声明を発する件」。教師委員会の戒規適用に対して抗議が述べられ、以下の点が指摘された。全教団的議論がないまま戒規適用を行ったこと。信仰職制委員会の権力化。教師委員会が、教

第59回東中教区総会が、5月24、25日、倉敷教会において、開会時、正議員96名中76名の出席で開催された。宮川経宣副議長(岡山信愛)の辞任に伴い、教区総会副議長選挙



小出望議長による開会礼拝説教

准允式・按手礼式が執行され、主の委託にこたへるべく新たな補教師3名が立てられ、臨席正教師全員の按手により正教師1名が祝福の内に立てられた。また記念式では、1年間に逝去された全信徒の名前が朗読され、祈りに覚えられた。教団総会議員選挙結果【教職】小出望(静岡草深)、北紀吉(愛宕町)、宮本義弘(沼津)、小林真(遠州)、松木田博(甲府)、佐々木美知夫(静岡)、森田恭一郎(遠州栄光)、宇田真(佐久)、山本将信(篠ノ井)、鷹澤匠(信州)

また議論は聖餐論そのものにも及んだ。未受洗者陪餐の無意味さが述べられる一方、洗礼を受けているというところは特権ではなく、未受洗者が聖餐にあずかっても無力化するわけではないとの意見が述べられた。賛成多数で可決された。緊急議案として、日本政府に対し、普天間をはじめ米軍基地の撤去と日米安保条約の破棄を求め、日本国憲法をもつて平和裏に世界共生を目指すようすすめる声明を発する件」が出され賛成多数で可決された。教団問安使挨拶として、鈴木伸治書記が教団議長挨拶を朗読し、質疑が行われた。教区活動連帯配分金が機能しなくなつてきている傾向、北村牧師の戒規につ

踏まれている。委員会が面談を申し入れても拒否されており、決定が性急であるとは言えない。また合同教会としての一致点である教憲・教規に違反するならば、戒規を受ける、あるいは教団を出る覚悟がなければいい加減であること、各個教会総会の決議が教憲・教規を超えてはいけないこと、教憲・教規が気に入らないなら、改正するというような手続きを重んじるべきこと等が指摘された。賛成の立場からは、北村牧師が面談を拒否したのでなく、延期を申し入れたのだとの指摘がなされた。

【教職】指方信平(旭東)、宮達雄(倉敷)、小松茂夫(鴨方)、川崎善三(米子錦町)、服部修(番山町)、井上孝仁(岡山) 【信徒】難波幸夫(光明園家族)、太田直宏(岡山)、中野浩(倉敷水島)、河田直子(番山町)、佐伯元(倉敷)、近藤寅之輔(美作落合) (嶋田恵信報)



